

東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所

第二種廃棄物埋設事業許可申請

第二種廃棄物埋設施設の位置、構造及び

設備の基準に関する規則第六条

(外部からの衝撃による損傷の防止)

への適合性について

2022年8月

日本原子力発電株式会社

目 次

1	はじめに.....	1
2	廃棄物埋設施設の安全機能について.....	4
3	設計対象設備.....	4
4	第二種埋設許可基準規則への適合のための設計方針.....	5
5	第二種埋設許可基準規則への適合性説明.....	6

添付資料 1 安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある外部
事象の評価結果

1 はじめに

本資料は、東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所 第二種廃棄物埋設事業許可申請について、「第二種廃棄物埋設施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則」（以下「第二種埋設許可基準規則」という。）第六条及び「第二種廃棄物埋設施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則の解釈」（以下「第二種埋設許可基準解釈」という。）第6条への適合性を説明するものである。

第二種埋設許可基準規則第六条及び第二種埋設許可基準解釈第6条の要求事項を第1表に示す。

第1表 第二種埋設許可基準規則及び第二種埋設許可基準解釈の要求事項

第二種埋設許可基準規則	第二種埋設許可基準解釈
<p>(外部からの衝撃による損傷の防止)</p> <p>第六条 安全機能を有する施設(中深度処分に係る廃棄物埋設地を除く。次項において同じ。)は、想定される自然現象(地震及び津波を除く。)であつてその供用中に当該安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがあるものに対して安全機能を損なわないものでなければならない。</p> <p>2 安全機能を有する施設は、事業所又はその周辺において想定される廃棄物埋設施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であつて人為によるものを除く。)のうち、その供用中に当該安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがあるものに対して安全機能を損なわないものでなければならない。</p>	<p>第6条 (外部からの衝撃による損傷の防止)</p> <p>1 第1項に規定する「想定される自然現象」とは、廃棄物埋設施設の敷地及びその周辺の自然環境を基に、最新の科学的・技術的知見に基づき、洪水、地すべり、火山の影響等から適用されるものをいう。なお、必要のある場合には、異種の自然現象の重畳を考慮すること。</p> <p>2 第2項に規定する「廃棄物埋設施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であつて人為によるもの(故意によるものを除く。)」とは、敷地及び敷地周辺の状況をもとに選択されるものであり、ダムの崩壊等をいう。</p> <p>3 第1項及び第2項に規定する「安全機能を損なわない</p>

第二種埋設許可基準規則	第二種埋設許可基準解釈
	もの」とは、安全機能が達成されること（安全上支障のない期間内において速やかに修復できることが確実にあることを含む。）をいう。

2 廃棄物埋設施設の安全機能について

第二種埋設許可基準規則第二条第2項第一号によって、「安全機能」とは、廃棄物埋設施設の安全性を確保するために必要な機能であって、その機能の喪失により公衆又は従事者に放射線障害を及ぼすおそれがあるものをいう。」とされている。

廃棄物埋設施設（以下「本施設」という。）の安全機能は、放射性物質の漏出を低減する機能（以下「漏出低減機能」という。）及び遮蔽機能で、これらの安全機能を有する施設は、廃棄物埋設地（漏出低減機能及び遮蔽機能）である。

本施設に必要となる安全機能を維持する期間は、第2表に示すとおりである。廃止措置の開始後は、廃棄物埋設地が有する漏出低減機能及び遮蔽機能を期待できるように設計する。

第2表 廃棄物埋設地における安全機能を維持する期間

安全機能	廃止措置の開始前	
	埋設する放射性廃棄物の受入れの開始から最終覆土完了まで	最終覆土完了から廃止措置の開始まで
漏出低減機能	○	○
遮蔽機能	○	○

○：安全機能を維持する

3 設計対象設備

第二種埋設許可基準規則第六条の設計対象設備は、廃棄物埋設地とする。

4 第二種埋設許可基準規則への適合のための設計方針

第二種埋設許可基準規則への適合のための設計方針として、安全機能を有する施設の外部からの衝撃による損傷の防止について、本施設及びその周辺の自然環境を基に、最新の科学的・技術的知見に基づき想定される自然現象（地震及び津波を除く。）（以下「自然現象」という。）並びに事業所又はその周辺において想定される本施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であって人為によるもの（故意によるものを除く）（以下「人為事象」という。）（以下「自然現象」及び「人為事象」をまとめて「外部事象」という。）のうち、平常時の環境条件として考慮するものに対して、安全機能が損なわれないように設計する。設計の対象期間は、放射性廃棄物の受入れの開始から廃止措置の開始までとする。

放射性廃棄物の受入れの開始から最終覆土完了までは、充填砂、中間覆土、側部低透水性覆土及び表面遮水により漏出低減機能を確保し、中間覆土により遮蔽機能を確保する。最終覆土完了から廃止措置の開始までは、充填砂、中間覆土、側部低透水性覆土及び最終覆土により漏出低減機能を確保し、中間覆土により遮蔽機能を確保する。

第二種埋設許可基準規則への適合性の確認に当たり、本施設の特徴として、安全性を確保する上で常時機能維持が必要な動的な設備・機器がないことを考慮する。また、本施設は取り扱う放射性廃棄物の放射能濃度が低いことを考慮する。

上記を踏まえ、本施設は、想定される外部事象のうち、放射性廃棄物の受入れの開始から廃止措置の開始までの期間に、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがあるものに対して安全機能を損なわない設計とする。また、その他の予想される自然現象に対し、適切な期間安全上要求される機能を損なわない設計とする。

ここで、大きな影響とは、取り扱う放射性廃棄物の放射能濃度が低いという本施設の特徴を踏まえて、安全機能を有する施設に与える大きな影響として、本施設全体に影響を与える外部事象を想定している。

具体的には、外部事象ごとに、本施設の安全機能が損なわれる可能性の有無について確認を行い、これらに該当する外部事象を評価対象として選定する。外部事象を選定するため、Addenda to ASME/ANS RA-S-2008, Standard for Level 1/Large Early Release Frequency Probabilistic Risk Assessment for Nuclear Power Plant Applications, ASME/ANS RA-Sa-2009 での評価手法を参考とした除外基準のいずれかに該当するものは除外する。

ただし、第二種埋設許可基準規則第四条（地震による損傷の防止）及び第二種埋設許可基準規則第五条（津波による損傷の防止）にて適切な期間安全上要求される機能を損なわないことを確認した、地震及び津波については除外する。

評価対象として選定した外部事象について、安全機能を損なわないものであることを確認するための評価を行う。

なお、外部事象により損傷が発生した際には、安全上支障のない期間内において、速やかに修復する。

5 第二種埋設許可基準規則への適合性説明

安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある自然現象及び人為事象の選定については、国内外の基準及び文献調査により外部事象を網羅的に抽出し、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがあるものとして、洪水（高河水位、防壁・堤防の崩壊を含む）、火山の影響及びダム崩壊を選定した。

評価対象として選定した外部事象について、安全機能を損なわないものであることを確認するための評価を行った結果、埋設する放射性廃棄物の受入れの開始から廃止措置の開始までの間において、本施設の安全機能を損なうような外部事象はない。このため、外部からの衝撃による損傷の防止に関する構造設計は不要とする。

安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある事象の評価に当たっては、洪水（高河水位、防壁・堤防の崩壊を含む）、火山の影響及びダムの崩壊について、事象の規模を考慮し、廃棄物埋設地を含めた敷地全体に対する影響を評価した。

安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある外部事象の評価結果については、添付資料 1 に示す。

なお、万一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼす事象が発生した場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。

以上

安全機能を有する施設に大きな影響を
及ぼすおそれがある外部事象の評価結果

目 次

1	はじめに.....	1
2	安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある外部事象の評価 結果.....	1

根拠資料 1 外部事象の選定

1 はじめに

本資料は、第二種埋設許可基準規則第六条に関する適合性を示す上で考慮する外部事象について、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれのある外部事象の評価結果を説明する。

2 安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある外部事象の評価結果

安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある外部事象の評価の流れとしては、平常時の環境条件として考慮する外部事象を国内外の基準及び文献調査により網羅的に抽出し、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがあるものとして、洪水（高河水位、防壁・堤防の崩壊を含む）、火山の影響及びダム崩壊を選定した（根拠資料 1 参照）。

評価対象として選定した外部事象について、安全機能を損なわないものであることを確認するための評価を行った。安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある事象の評価に当たっては、洪水（高河水位、防壁・堤防の崩壊を含む）、火山の影響及びダム崩壊について、事象の規模を考慮し、廃棄物埋設地を含めた敷地全体に対する影響を評価した。評価結果の詳細は第 1 表に示す。

その結果、埋設する放射性廃棄物の受入れの開始から廃止措置の開始までの間において、安全機能を損なう外部事象はない。また、安全機能を損なう自然現象はないため、異種の自然現象の重畳についても考慮しない。

なお、外部事象により損傷が発生した際には、安全上支障のない期間内において、速やかに修復する。

第1表 大きな影響を及ぼすおそれがある事象の評価結果 (1/2)

外部事象		事象に対する考え方	
自然現象	洪水（高河水位，防壁・堤防の崩壊を含む）	<p>廃棄物埋設地の北側に久慈川が位置している。</p> <p>「洪水・土砂災害ハザードマップ」（東海村発行）の根拠となっている「洪水浸水想定区域図（想定最大規模）」（国土交通省関東地区整備局発行）によると，久慈川が氾濫した場合，T.P. +約 4 m の廃棄物埋設地北側部分が浸水し，T.P. +約 8 m の廃棄物埋設地南側部分は浸水しない。一方，廃棄物埋設地及びその周辺を T.P. +約 8 m に造成するため，廃棄物埋設地北側部分についても，浸水が想定されない廃棄物埋設地南側と同じ状況になることが想定され，廃棄物埋設地全域で浸水は発生しないと考えられる。</p> <p>廃棄物埋設地の南側に丘陵地を挟んで新川が位置している。</p> <p>「洪水・土砂災害ハザードマップ」（東海村発行）によれば，廃棄物埋設地は浸水範囲ではない。</p> <p>以上より，洪水により廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。</p>	
	火山の影響	火山から発生する飛来物（噴石），火山弾，火山礫	<p>完新世の活動の有無，将来の活動性を検討した結果，廃棄物埋設地に影響を及ぼし得る火山として 13 火山を抽出した。抽出された火山に対して，設計対応不可能な火山事象（火砕物密度流，溶岩流，岩屑なだれ，地滑り及び斜面崩壊，新しい火口の開口，地殻変動）について次のとおり評価を行った。</p>
		火砕物密度流，火砕流	<p>火砕物密度流（火砕流，火砕サージ，爆風を含む）については，各火山の過去最大規模の火砕物密度流の分布から到達可能性範囲を評価した結果，廃棄物埋設地までの到達は認められない。</p>
		溶岩流	<p>溶岩流，岩屑なだれ，地滑り，斜面崩壊（山体崩壊を含む）については，廃棄物埋設地に最も近い火山でも廃棄物埋設地から約 90km と十分離れていることから，廃棄物埋設地に到達する可能性は十分に小さいと判断される。</p>
		火砕サージ	
		爆風	<p>新しい火口の開口，地殻変動については，廃棄物埋設地は火山フロントより前弧側（東方）に位置し廃棄物埋設地周辺では火成活動は確認されていないことから，廃棄物埋設地において発生する可能性は十分に小さいと判断される。</p>
		土石流，火山泥流，洪水	
		降下火砕物，降灰	<p>以上のことから，設計対応不可能な火山事象が廃棄物埋設地に影響を及ぼす可能性は十分に小さいと評価した。また，設計対応が不可能な火山事象が廃棄物埋設地に到達した可能性はないため，火山活動のモニタリングは不要である。</p>
火山ガス			

第1表 大きな影響を及ぼすおそれがある事象の評価結果 (2/2)

外部事象		事象に対する考え方
自然現象	熱水系及び地下水の異常, 熱湯	<p>抽出された火山に対して、火山事象（設計対応が可能なもの）について次のとおり評価を行った。</p> <p>降下火砕物（降灰）については、安全機能が達成されるよう、必要に応じて廃棄物埋設地の除灰を実施する。</p> <p>火山性土石流（土石流）、火山泥流、洪水については、廃棄物埋設地から西方約 20 km の那珂川に沿う瓜連（うりづら）丘陵に火山性土石流堆積物である粟河軽石が分布するが、これ以外の火山性土石流堆積物は廃棄物埋設地周辺に認められないことから、廃棄物埋設地に影響を及ぼす可能性は十分に小さいと判断される。</p> <p>火山から発生する飛来物（噴石、火山弾、火山礫を含む）については、廃棄物埋設地に最も近い火山でも廃棄物埋設地から約 90 km と十分離れていることから、廃棄物埋設地への影響はないと判断される。</p> <p>火山ガスについては、廃棄物埋設地に最も近い火山でも廃棄物埋設地から約 90 km と十分離れていること、廃棄物埋設地は太平洋に面しており火山ガスが滞留するような地形条件ではないことから、廃棄物埋設地に影響を及ぼす可能性は十分に小さいと判断される。</p> <p>熱水系及び地下水の異常（熱湯）、大気現象については、廃棄物埋設地に最も近い火山でも廃棄物埋設地から約 90 km と十分離れていることから、廃棄物埋設地に影響を及ぼす可能性は十分に小さいと判断される。</p> <p>以上より、火山の影響により廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。</p>
	岩屑なだれ, 地滑り, 斜面崩壊, 山体崩壊	
	新しい火口の開口	
	大気現象	
	火山の影響	
地殻変動		
人為事象	ダムの崩壊	<p>廃棄物埋設地の北側に久慈川が位置しており、その支川である山田川に竜神ダムがあり、廃棄物埋設地から約 30 km に位置している。廃棄物埋設地からダムまでは距離が離れていること、久慈川は敷地の北方を太平洋に向かい東進していること、廃棄物埋設地の西側は北から南にかけては T.P. +3 m ~ T.P. +21 m の上り勾配となっている。</p> <p>以上より、ダムの崩壊に伴う流出水による影響はなく、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。</p>

以上

外部事象の選定

目 次

1	はじめに.....	1
2	外部事象の選定の考え方.....	1
3	外部事象を抽出した国内外の文献.....	3
4	外部事象の選定結果.....	5

1 はじめに

廃棄物埋設地で想定される外部事象について、廃止措置の開始前の期間に対して、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれのあるものを選定する。

2 外部事象の選定の考え方

外部事象の選定の考え方としては、国内外の基準及び文献調査により外部事象を網羅的に抽出し、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある外部事象を選定する。

具体的には、外部事象ごとに、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれる可能性の有無について確認を行い、これらに該当する外部事象を評価対象として選定する。

外部事象を選定するため、Addenda to ASME/ANS RA-S-2008, Standard for Level 1/Large Early Release Frequency Probabilistic Risk Assessment for Nuclear Power Plant Applications, ASME/ANS RA-Sa-2009 での評価手法を参考とした除外基準のいずれかに該当するものは除外する。外部事象の除外基準を第1表に示す。

ただし、第二種埋設許可基準規則第四条(地震による損傷の防止)及び第五条(津波による損傷の防止)にて適切な期間安全上要求される機能を損なわないことを確認した、地震及び津波については除外する。

なお、地震及び津波の影響については、第四条及び第五条で別途説明する。

第1表 外部事象の除外基準

基準	除外理由
基準A	廃棄物埋施設に影響を与えるほど近接した場所に発生しない。
基準B	ハザードの進展・襲来が遅く、事前にそのリスクを予知・検知し、ハザードを排除できる。
基準C	廃棄物埋施設の安全機能が損なわれることがない。
基準D	影響が他の事象に包含される。
基準E	発生頻度が他の事象と比較して非常に低い。

3 外部事象を抽出した国内外の文献

安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある外部事象の選定に当たり、国内外の基準及び文献調査により外部事象を網羅的に抽出する。

国内外の基準及び文献は自然災害、産業事故、原子力発電所の安全性に影響を与える可能性のある外部ハザード、放射性廃棄物処分施設の地質環境及び安全評価に係る情報が網羅的に示されているものを参考にした。外部事象を抽出した国内外の文献一覧を第2表に示す。

第2表 外部事象を抽出した国内外の文献一覧

No.	文献名
1	日本原子力学会 (2014) : 外部ハザードに対するリスク評価方法の選定に関する実施基準 : 2014 (A E S J -SC-RK008:2014)
2	国会資料編纂会 (1998) : 日本の自然災害
3	日外アソシエーツ (2010) : 日本の災害史事典 1868-2009
4	日外アソシエーツ (2010) : 産業災害全史<シリーズ災害・事故史 4>
5	I A E A (2016) : Site Evaluation for Nuclear Installations, Safety Requirements No.NS-R-3 (Rev.1)
6	I A E A (2010) : Development and Application of Level 1 Probabilistic Safety Assessment for Nuclear Power Plants, Specific Safety Guide No.SSG-3
7	N R C (1983) : PRA PROCEDURES GUIDE (Vol.1, Vol.2) , N U R E G /CR-2300
8	N R C (1991) : Procedural and Submittal Guidance for the Individual Plant Examination of External Events (I P E E E) for Severe Accident Vulnerabilities, N U R E G -1407
9	N R C (1987) : Evaluation of External Hazards to Nuclear Power Plants in the United States, N U R E G /CR-5042
10	N E I (2012) : DIVERSE AND FLEXIBLE COPING STRATEGIES (F L E X) IMPLEMENTATION GUIDE, N E I 12-06
11	I A E A (2015) : Site Survey and Site Selection for Nuclear Installations, Specific Safety Guide No.SSG-35
12	A S M E (2009) : Addenda to A S M E / A N S RA-S-2008, Standard for Level 1 / Large Early Release Frequency Probabilistic Risk Assessment for Nuclear Power Plant Applications, A S M E / A N S RA-Sa-2009
13	O E C D / N E A (2019) : International Features, Events and Processes (I F E P) List for the Deep Geological Disposal of Radioactive Waste Version 3.0
14	I A E A (2014) : Near Surface Disposal Facilities for Radioactive Waste, Specific Safety Guide No.SSG-29

4 外部事象の選定結果

第2表に示す国内外の基準及び文献調査により網羅的に抽出された外部事象を第3表及び第4表に示す。

抽出された外部事象のうち、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがあるものを選定した結果を第5表及び第6表に示す。

上記の結果、評価対象として洪水（高河水位、防壁・堤防の崩壊を含む）、火山の影響及びダム崩壊を選定した。

第3表 自然現象の抽出 (1/4)

安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある自然現象の抽出	国内外の基準及び文献による自然現象の抽出(番号は国内外の文献番号)														第二種埋設許可基準解釈に例示のある外部事象	火山影響評価ガイドに記載のある外部事象
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14		
1 地震	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-
2 地盤の変形	○	○	○	-	-	-	-	-	-	○	○	-	○	○	-	-
3 地盤の変位	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-
4 地滑り	○	○	○	-	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
5 液状化現象	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	○	○	-	-
6 泥湧出	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
7 斜面の不安定	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
8 津波	○	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-
9 静振	○	-	-	-	○	-	○	-	○	○	○	○	-	-	-	-
10 高潮	○	○	○	-	○	-	-	-	○	○	○	○	○	-	-	-
11 波浪, 高波	○	○	○	-	○	-	○	-	○	○	○	○	○	-	-	-
12 高潮位, 高潮水位	○	○	○	-	○	○	○	-	○	-	○	○	-	-	-	-
13 低潮位, 低水位	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
14 海流異変	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15 風(台風)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16 竜巻	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-
17 砂嵐	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18 極端な気圧	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-
19 降水	○	○	○	-	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○
20 洪水, 高河水位, 防壁・堤防の崩壊	○	○	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21 土石流	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22 降雹	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-
23 落雷(電流)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-
24 森林火災	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-
25 草原火災	-	-	○	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-
26 高温	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-
27 低温, 凍結	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-
28 氷結	○	-	○	-	○	○	○	-	○	○	○	○	-	-	-	-
29 氷晶	○	-	○	-	○	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-
30 氷壁	○	-	○	-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-

第3表 自然現象の抽出 (2/4)

安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある自然現象の抽出		国内外の基準及び文献による自然現象の抽出(番号は国内外の文献番号)														第二種埋設許可基準解釈に例示のある外部事象	火山影響評価ガイドに記載のある外部事象		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14				
31	高水温	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
32	低水温	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
33	干ばつ	○	○	○	-	-	○	○	-	-	○	○	○	○	-	-	-		
34	霜	○	○	○	-	-	○	○	-	-	○	○	○	-	-	-	-		
35	霧	○	-	○	-	-	○	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-		
36	火山の影響	火山から発生する飛来物(噴石), 火山弾, 火山礫	○	○	○	-												○	
		火砕物密度流, 火砕流	○	○	○	-												○	
		溶岩流	○	○	○	-												○	
		火砕サージ	○	○	-	-												-	
		爆風	○	-	-	-												-	
		土石流, 火山泥流, 洪水	○	-	○	-												○	
		降下火砕物, 降灰	○	○	○	-												○	
		火災(山林火災)	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	
		火山ガス	○	○	○	-													○
		熱水系及び地下水の異常, 熱湯	○	-	-	-													○
		岩屑なだれ, 地滑り, 斜面崩壊, 山体崩壊	○	-	○	-													○
		新しい火口の開口	-	-	-	-													○
		津波, 静振	○	○	-	-													○
		大気現象	-	-	-	-													○
地殻変動	-	-	-	-													○		
火山性地震とこれに関連する事象	-	-	-	-													○		
37	積雪	○	○	○	-	○	○	○	-	-	○	○	○	-	-	-	-		
38	雪崩	○	○	○	-	○	○	○	-	○	○	○	○	-	-	-	-		
39	生物学・生化学的現象, 微生物	○	-	○	-	○	○	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-		
40	塩害	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-		
41	隕石	○	-	-	-	-	○	○	○	○	○	-	○	○	-	-	-		
42	陥没	○	○	○	-	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-		
43	土壌の収縮・膨張	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○	○	○	○	-	-	-		
44	隆起, 沈降	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-		
45	地形及び陸水の変化	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-		
46	地盤の侵食	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-		
47	海岸侵食	○	-	-	-	○	-	○	-	-	○	○	○	○	-	-	-		
48	海面下の侵食	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	○	-	-		
49	地下水による侵食	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-		
50	カルスト	○	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-		

第3表 自然現象の抽出 (3/4)

安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある自然現象の抽出	国内外の基準及び文献による自然現象の抽出(番号は国内外の文献番号)														第二種埋設許可基準解釈に例示のある外部事象	火山影響評価ガイドに記載のある外部事象	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14			
51 海氷による川の閉塞	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
52 潮若しくは川の水位降下	○	-	-	-	-	-	○	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-
53 河川の流路変更	○	-	-	-	○	-	○	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-
54 有毒ガス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
55 太陽フレアによる磁気	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
56 気候変動サイクル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-
57 氷期-間氷期サイクル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
58 温暖化	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
59 海水準変動	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-
60 構造運動	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
61 変成作用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
62 塑性変形作用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
63 続成作用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
64 岩塩ダイアピル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
65 地殻変動	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-
- 海象 (高潮、潮位、津波で検討)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
- 地質・地質構造の性状・特性 (地盤の特性であり、外部影響事象として抽出しない)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-
- 天然資源・鉱物資源 (地盤の特性であり、外部影響事象として抽出しない)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
66 風化	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-
67 変質	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-
- 力学・変形特性(掘削影響範囲・力学的安定性を含む) (地盤の特性であり、外部影響事象として抽出しない)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	○	-	-	-
- 熱特性 (地盤の特性であり、外部影響事象として抽出しない)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
68 蒸発散量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-
69 かん養量, 水収支	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
70 季節的な氷の量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-

第3表 自然現象の抽出 (4/4)

安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある自然現象の抽出		国内外の基準及び文献による自然現象の抽出(番号は国内外の文献番号)														第二種埋設許可基準解釈に例示のある外部事象	火山影響評価ガイドに記載のある外部事象
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14		
-	風速・風向 (気象の特性であり, 外部影響事象として抽出しない)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-
-	極端な気象パターン (台風、竜巻、極端な気圧で検討)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-
71	ホク凍上											○		○			
	72 河川流量											○	-	○	-	-	-
	73 流出地点の状態(河川、沼)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	○	-	-
	74 透水性の変化	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-
	75 地下水水位(地下水流動)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	○	-	-
-	深部流体 (余裕深度処分に關する事象であり, 外部影響事象として抽出しない)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
76	満潮	○	○	○	-	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-
77	水蒸気	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
78	天水の水質	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
79	表流水・地下水の水質	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-
-	岩盤の鉱物・化学組成 (地盤の特性であり, 外部影響事象として抽出しない)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-
-	コロイド (地盤の特性であり, 外部影響事象として抽出しない)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-
-	有機物 (地盤の特性であり, 外部影響事象として抽出しない)	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-

第4表 人為事象の抽出

安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある人為事象の抽出		国内外の基準及び文献による人為事象の抽出(番号は国内外の文献番号)														第二種埋設許可基準解釈に例示のある外部事象
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
1	船舶事故による油流出	○	-		○		○				-			-	-	-
2	船舶事故(爆発, 化学物質放出)	○	-	○	○	○	○			○	○	○	○	-	-	-
3	船舶の衝突	○	-		○		○				○			○	-	-
4	飛来物(航空機落下等)	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-
5	鉄道事故(爆発, 化学物質放出)	○	-		○	-	○							○	-	-
6	鉄道の衝突	○	-	○	○	-	-			○	○			○	-	-
7	交通事故(爆発, 化学物質放出)	○	-		○	-	○					○	○	○	-	-
8	自動車の衝突	○	-	○	○	-	○			○	○			○	-	-
9	近隣工場の爆発	-	-	-	○		○	-	○		-			○	-	-
10	工場事故(化学物質放出)	○	-	○	○		-	-			-			○	-	-
11	鉱山事故(爆発, 化学物質放出)	○	-	○	○	○	○	-	○		-	○		○	-	-
12	土木・建築現場の事故(爆発, 化学物質放出)	○	-	○	○		-	-	○	○	-		○	○	-	-
13	軍事基地の事故(爆発, 化学物質放出)	○	-	○	-	-	-	-			-			○	-	-
14	軍事基地からの飛来物	-	-	○	-	○	○	-			-	○		○	-	-
15	軍事行動による破壊・損傷	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
16	パイプライン事故(爆発, 化学物質放出)	-	-	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	-	-
17	敷地内における化学物質の漏えい	-	-	-	-	-	○	○	-	○	○	○	○	-	-	-
18	人工衛星の落下	○	-	-	-	-	○	-	○	○	○	-	○	○	-	-
19	ダム崩壊	-	-	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	○
20	電磁的障害	○	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-
21	掘削工事	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	○	-	-
22	重量物の落下	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23	タービンミサイル	-	-	-	-	-	○	○	-	-	○	○	○	-	-	-
24	有毒ガス	-	-	○	○	-	-	○	-	-	○	○	○	-	-	-
25	近隣工場の火災	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
26	火災	○	-	○	○	○	○	-	○	○	-	○	-	-	-	-
27	溢水	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-

第5表 自然現象の選定 (1/14)

	国内外の文献から抽出した事象	選定の基準	除外の理由	評価対象とした事象
1	地震	—	第二種埋設許可基準規則第四条（地震による損傷の防止）にて安全機能が損なわれないことを確認する。	— （第四条）
2	地盤の変形	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。しかし、第二種埋設許可基準規則第三条（安全機能を有する施設の地盤）にて要求されている通り、廃棄物埋設地は、変形した場合においてもその安全機能が損なわれるおそれがない地盤に設けることから、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。 なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
3	地盤の変位	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。しかし、第二種埋設許可基準規則第三条（安全機能を有する施設の地盤）にて要求されている通り、廃棄物埋設地は、変位が生ずるおそれがない地盤に設けることから、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。 なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
4	地滑り	A	廃棄物埋設地周辺に地滑りが発生するような地形は存在しない。	×
5	液状化現象	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。しかし、第二種埋設許可基準規則第三条（安全機能を有する施設の地盤）にて要求されている通り、廃棄物埋設地は、液状化により変形した場合においてもその安全機能が損なわれることは考えられない。 なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×

第5表 自然現象の選定 (2/14)

	国内外の文献から抽出した事象	選定の基準	除外の理由	評価対象とした事象
6	泥湧出	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、廃棄物埋設地周辺は、泥湧出が発生するような地質構造（歪集中帯、背斜構造、高圧の間隙水及びガス地層）ではないため、泥湧出（泥火山）により廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
7	斜面の不安定	A	廃棄物埋設地周辺に不安定な斜面は存在しない。	×
8	津波	—	第二種埋設許可基準規則第五条（津波による損傷の防止）にて安全機能が損なわれないことを確認する。	— （第五条）
9	静振	D	本事象は津波に包含される。	×
10	高潮	D	本事象は津波に包含される。	×
11	波浪、高波	D	本事象は津波に包含される。	×
12	高潮位、高湖水位	D	本事象は津波に包含される。	×
13	低潮位、低水位	C	安全機能を有する施設には海洋及び河川から取水する設備がないため、廃棄物埋設施設の安全機能は低潮位、低水位の影響は受けず、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。	×
14	海流異変	C	安全機能を有する施設には海洋及び河川から取水する設備がないため、廃棄物埋設施設の安全機能は海流異変の影響は受けず、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。	×

第5表 自然現象の選定 (3/14)

	国内外の文献から抽出した事象	選定の基準	除外の理由	評価対象とした事象
15	風（台風）	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、風（台風）の影響は局所的または一時的であるため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。 なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
16	竜巻	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、竜巻の影響は局所的または一時的であるため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。 なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
17	砂嵐	A	廃棄物埋設地周辺に砂塵が舞い上がるような砂漠や大規模な砂丘は分布しない。	×
18	極端な気圧	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、極端な気圧の影響は局所的または一時的であるため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。 なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
19	降水（量）	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、降水（量）の影響は局所的または一時的であり、これらの降水により破損しないため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。 なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×

第5表 自然現象の選定 (4/14)

	国内外の文献から抽出した事象	選定の基準	除外の理由	評価対象とした事象
20	洪水, 高河水位, 防壁・堤防 の崩壊	—	—	○
21	土石流	A	廃棄物埋設地周辺に土石流を発生させるような地形は存在しない。	×
22	降雹	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、降雹の影響は局所的または一時的であるため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
23	落雷 (電流)	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、安全機能を有する施設には電源を必要とする設備がないため、廃棄物埋設施設の安全機能は落雷(電流)の影響を受けず、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
24	森林火災	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、安全機能を有する施設は不燃性であり、また、森林火災の影響は局所的または一時的であるため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×

第5表 自然現象の選定 (5/14)

	国内外の文献から抽出した事象	選定の基準	除外の理由	評価対象とした事象
25	草原火災	A	廃棄物埋設地周辺には草原がない。	×
26	高温	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、高温の影響は局所的または一時的であるため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
27	低温、凍結	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、水を使用する設備はなく、低温、凍結の影響は局所的または一時的であるため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
28	氷結	D	本事象は低温、凍結に包含される。	×
29	氷晶	D	本事象は低温、凍結に包含される。	×
30	氷壁	A	氷壁（氷河の末端や冰山等の絶壁）は、廃棄物埋設地に影響を与えるほど近接した場所には発生しない。	×
31	高水温	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、安全機能を有する施設には海洋及び河川から取水する設備がないため、廃棄物埋設施設の安全機能は高水温の影響を受けず、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×

第5表 自然現象の選定 (6/14)

	国内外の文献から抽出した事象	選定の基準	除外の理由	評価対象とした事象
32	低水温	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、安全機能を有する施設には海洋及び河川から取水する設備がないため、廃棄物埋設施設の安全機能は低水温の影響を受けず、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。 なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
33	干ばつ	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、干ばつは廃棄物埋設施設の安全機能を損なうような事象ではない。 なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
34	霜	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、霜は廃棄物埋設施設の安全機能を損なうような事象ではない。 なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
35	霧	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、霧は廃棄物埋設施設の安全機能を損なうような事象ではない。 なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×

第5表 自然現象の選定 (7/14)

		国内外の文献から抽出した事象	選定の基準	除外の理由	評価対象とした事象
36	火山の影響	火山から発生する飛来物（噴石）、火山弾、火山礫	—	—	○
		火砕物密度流、火砕流	—	—	○
		溶岩流	—	—	○
		火砕サージ	—	—	○
		爆風	—	—	○
		土石流、火山泥流、洪水	—	—	○
		降下火砕物、降灰	—	—	○
		火災（山林火災）	D	本事象は森林火災に包含される。	×
		火山ガス	—	—	○
		熱水系及び地下水の異常、熱湯	—	—	○
		岩屑なだれ、地滑り、斜面崩壊、山体崩壊	—	—	○
		新しい火口の開口	—	—	○
		津波、静振	D	本事象は津波に包含される。	×
		大気現象	—	—	○
		地殻変動	—	—	○
		火山性地震とこれに関連する事象	D	本事象は地震に包含される。	×

第5表 自然現象の選定 (8/14)

	国内外の文献から抽出した事象	選定の基準	除外の理由	評価対象とした事象
37	積雪	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、積雪の影響は局所的または一時的であるため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
38	雪崩	A	雪崩は、廃棄物埋設地に影響を与えるほど近接した場所には発生しない。	×
39	生物学・生化学的現象、微生物	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、これらの設備への生物学・生化学的現象、微生物の影響は局所的または一時的であるため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
40	塩害	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、塩害の影響は局所的または一時的であるため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
41	隕石	E	隕石が衝突する可能性は極めて低い。	×
42	陥没	A	廃棄物埋設地周辺の地層は、地層の構成物が物理的に流出するあるいは化学的に溶脱するような地質状況ではないため、陥没は発生しない。	×

第5表 自然現象の選定 (9/14)

	国内外の文献から抽出した事象	選定の基準	除外の理由	評価対象とした事象
43	土壌の収縮・膨張	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、廃棄物埋設地の土壌は砂丘砂層であるため、土壌の収縮・膨張による影響は受けず、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。 なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
44	隆起、沈降	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、隆起・沈降の進行速度は緩慢であるため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。 なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
45	地形及び陸水の変化	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、地形及び陸水の変化の進行速度は緩慢であるため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。 なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
46	地盤の侵食	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、地盤の侵食の進行速度は緩慢であるため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。 なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×

第5表 自然現象の選定 (10/14)

	国内外の文献から抽出した事象	選定の基準	除外の理由	評価対象とした事象
47	海岸侵食	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、海岸侵食の進行速度は緩慢であるため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
48	海面下の侵食	A	海面下の侵食は、廃棄物埋設地に影響を与えるほど近接した場所に発生しない。	×
49	地下水による侵食	A	廃棄物埋設地周辺は、陥没やカルストが発生する地質状況ではないため、地下水による侵食は発生しない。	×
50	カルスト	A	廃棄物埋設地周辺は、石灰岩などの炭酸塩岩の地層は分布しないため、カルストは発生しない。	×
51	海氷による川の閉塞	C	安全機能を有する施設には海洋及び河川から取水する設備がないため、廃棄物埋設施設の安全機能は海氷による川の閉塞の影響を受けず、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。	×
52	湖若しくは川の水位低下	C	安全機能を有する施設には海洋及び河川から取水する設備がないため、廃棄物埋設施設の安全機能は湖若しくは川の水位低下の影響を受けず、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。	×
53	河川の流路変更	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、河川の流路変更の進行速度は緩慢であるため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
54	有毒ガス	D	本事象は人為事象の有毒ガスに包含される。	×
55	太陽フレアによる磁気	D	本事象は人為事象の電磁的障害に包含される。	×

第5表 自然現象の選定 (11/14)

	国内外の文献から抽出した事象	選定の基準	除外の理由	評価対象とした事象
56	気候変動サイクル	D	本事象は高温, 低温・凍結, 降水量, 海水準変動に包含される。	×
57	氷期-間氷期サイクル	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は, 漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は, 中間覆土, 充填砂, 側部低透水性覆土, 最終覆土によって担保されるが, 氷期-間氷期サイクルの進行速度は緩慢であるため, 廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。 なお, 万が一, 安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は, 必要な体制を構築し, 速やかに復旧する。	×
58	温暖化	D	本事象は高温, 低温・凍結, 降水量, 海水準変動に包含される。	×
59	海水準変動	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は, 漏出低減機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は, 中間覆土, 充填砂, 側部低透水性覆土, 最終覆土によって担保されるが, 海水準変動の進行速度は緩慢であるため, 廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。 なお, 万が一, 安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は, 必要な体制を構築し, 速やかに復旧する。	×
60	構造運動	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は, 漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は, 中間覆土, 充填砂, 側部低透水性覆土, 最終覆土によって担保されるが, 構造運動の進行速度は緩慢であるため, 廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。 なお, 万が一, 安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は, 必要な体制を構築し, 速やかに復旧する。	×
61	変成作用	A	廃棄物埋設地周辺は, 新規の火山活動が生じる可能性はないため, マグマ活動による接触変成作用は生じない。また, 太平洋プレート沈み込み帯(海溝)よりも背弧側に位置し, 地下深部のような高圧条件環境となることはないため, 広域変成作用は生じない。加えて, 中位段丘が分布しており, 隆起場と考えられるため, 埋没変成作用は生じない。	×

第5表 自然現象の選定 (12/14)

	国内外の文献から抽出した事象	選定の基準	除外の理由	評価対象とした事象
62	塑性変形作用	A	廃棄物埋設地周辺は、断層帯や褶曲帯ではないため、断層面の先端部で発生する塑性変形や褶曲による塑性変形は生じない。	×
63	続成作用	A	廃棄物埋設地周辺は、中位段丘が分布しており隆起場と考えられるため、地層が地下に埋没して地表よりも高い温度・圧力（荷重）の環境下で進展する続成作用は生じない。	×
64	岩塩ダイアピル	A	廃棄物埋設地周辺は、岩塩層が分布しないため、岩塩ダイアピルは生じない。	×
65	地殻変動	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、地殻変動の進行速度は緩慢であるため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
66	風化	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、風化の進行速度は緩慢であるため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
67	変質	A	廃棄物埋設地周辺は、新規の火山活動が生じる可能性はないため、マグマ活動による熱水が発生することはなく、変質は生じない。	×
68	蒸発散量	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、蒸発散量の変化は廃棄物埋設施設の安全機能を損なうような事象ではないため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×

第5表 自然現象の選定 (13/14)

	国内外の文献から抽出した事象	選定の基準	除外の理由	評価対象とした事象
69	かん養量, 水収支	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能である。 廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、かん養量、水収支の変化は廃棄物埋設施設の安全機能を損なうような事象ではないため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。 なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
70	季節的な氷の量	A	廃棄物埋設地周辺は、季節的氷が発生するような環境にない。	×
71	永久凍土	A	廃棄物埋設地周辺は、永久凍土が生じるような環境にない。	×
72	河川流量	C	廃棄物埋設地周辺の地下水は、地表に流出することなく海域に達するため、河川流量の変化は廃棄物埋設地に影響を与えない。	×
73	流出地点の状態（河川、沼）	C	廃棄物埋設地周辺の地下水は、地表に流出することなく海域に達するため、流出地点（河川、沼）はない。	×
74	透水性の変化	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。 廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、廃棄物埋設地は不飽和土層であり、廃棄物埋設地周辺の地盤の透水性の変化が廃棄物埋設施設の安全機能を損なうことはないため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。 なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×

第5表 自然現象の選定 (14/14)

	国内外の文献から抽出した事象	選定の基準	除外の理由	評価対象とした事象
75	地下水位 (地下水流動)	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能である。 廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、地下水位（地下水流動）の変化は緩慢であるため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。 なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
76	満潮	D	本事象は津波に包含される。	×
77	水蒸気	A	廃棄物埋設地に最も近い火山でも廃棄物埋設地から約 90km と十分離れていることから、火山事象に伴い水蒸気が発生することはない。	×
78	天水の水質	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。 廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、天水の水質は廃棄物埋設施設の安全機能に影響を及ぼす水質ではないため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。 なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
79	表流水・地下水の水質	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。 廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、表流水・地下水の水質は廃棄物埋設施設の安全機能に影響を及ぼす水質ではないため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。 なお、廃棄物埋設地周辺の地下水は、地表に流出することなく海域に達するため、表流水の水質による影響はない。また、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×

第6表 人為事象の選定 (1/6)

	国内外の文献から抽出した事象	選定の基準	除外の理由	評価対象とした事象
1	船舶事故による油流出	A	廃棄物埋設地は海岸から約 0.4km 離れているため、船舶事故による油流出によって、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。	×
2	船舶事故(爆発, 化学物質放出)	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、廃棄物埋設地は海岸から約 0.4km 離れており、船舶事故(爆発, 化学物質放出)の影響は局所的または一時的であるため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。 なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
3	船舶の衝突	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、廃棄物埋設地は海岸から約 0.4km 離れており、船舶の衝突の影響は局所的または一時的であるため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。 なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
4	飛来物(航空機落下等)	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、飛来物(航空機落下等)の影響は局所的または一時的であるため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。 なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×

第6表 人為事象の選定 (2/6)

	国内外の文献から抽出した事象	選定の基準	除外の理由	評価対象とした事象
5	鉄道事故 (爆発, 化学物質 放出)	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。 廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、廃棄物埋設地は鉄道線路から約1.5km 離れており、鉄道事故(爆発、化学物質放出)の影響は局所的または一時的であるため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。 なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
6	鉄道の衝突	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。 廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、廃棄物埋設地は鉄道線路から約1.5km 離れており、鉄道の衝突の影響は局所的または一時的であるため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。 なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
7	交通事故 (爆発, 化学物質 放出)	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。 廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、交通事故(爆発、化学物質放出)の影響は局所的または一時的であるため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。 なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
8	自動車の 衝突	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。 廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、自動車の衝突の影響は局所的または一時的であるため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。 なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×

第6表 人為事象の選定 (3/6)

	国内外の文献から抽出した事象	選定の基準	除外の理由	評価対象とした事象
9	近隣工場の爆発	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、廃棄物埋設地は爆発が生じるような近隣工場から隔離距離が確保されており、近隣工場の爆発は局所的または一時的であるため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。 なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
10	工場事故 (化学物質放出)	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、工場事故(化学物質放出)の影響は局所的または一時的であるため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。 なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
11	鉱山事故 (爆発, 化学物質放出)	A	廃棄物埋設地周辺には、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれのある鉱山はない。	×
12	土木・建築現場の事故 (爆発, 化学物質放出)	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、土木・建築現場の事故(爆発, 化学物質放出)の影響は局所的または一時的であるため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。 なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×

第6表 人為事象の選定 (4/6)

	国内外の文献から抽出した事象	選定の基準	除外の理由	評価対象とした事象
13	軍事基地の事故（爆発，化学物質放出）	A	廃棄物埋設地周辺には，安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれのある軍事基地はない。	×
14	軍事基地からの飛来物	A	廃棄物埋設地周辺には軍事基地はなく，ミサイル等の飛来物の偶発的な到達は考えられない。	×
15	軍事行動による破壊・損傷	—	軍事行動による破壊・損傷は，故意に発生する事象であり検討対象外。	—
16	パイプライン事故（爆発，化学物質放出）	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は，漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は，中間覆土，充填砂，側部低透水性覆土，最終覆土によって担保されるが，廃棄物埋設地はパイプラインから約 0.5km 離れており，パイプライン事故（爆発，化学物質放出）の影響は局所的または一時的であるため，廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。なお，万が一，安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は，必要な体制を構築し，速やかに復旧する。	×
17	敷地内における化学物質の漏えい	A	廃棄物埋設地には，安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれのある化学物質を貯蔵する施設はない。	×
18	人工衛星の落下	E	人工衛星が落下する可能性は極めて低い。	×
19	ダムの崩壊	—	—	○

第6表 人為事象の選定 (5/6)

	国内外の文献から抽出した事象	選定の基準	除外の理由	評価対象とした事象
20	電磁的障害	C	安全機能を有する施設には電源を必要とする設備がないため、廃棄物埋設施設の安全機能は電磁的障害による磁気の影響は受けず、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。	×
21	掘削工事	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、掘削工事の影響は局所的または一時的であるため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。 なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
22	重量物の落下	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、重量物の落下の影響は局所的または一時的であるため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。 なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
23	タービンミサイル	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、東海第二発電所に設置される蒸気タービンと廃棄物埋設地の距離は約0.5km 離れており、タービンミサイルの影響は局所的または一時的であるため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。 なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
24	有毒ガス	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、有毒ガスの影響は局所的または一時的であるため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。 なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×

第6表 人為事象の選定 (6/6)

	国内外の文献から抽出した事象	選定の基準	除外の理由	評価対象とした事象
25	近隣工場の火災	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、廃棄物埋設地は爆発が生じるような近隣工場から隔離距離が確保されており、近隣工場の火災は局所的または一時的であるため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。 なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
26	火災	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、これらの設備は不燃性であり、また、火災は局所的または一時的であるため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。 なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×
27	溢水	C	本事象で影響を受ける可能性のある廃棄物埋設施設の安全機能は、漏出低減機能及び遮蔽機能である。廃棄物埋設施設の安全機能は、中間覆土、充填砂、側部低透水性覆土、最終覆土によって担保されるが、廃棄物埋設地で溢水を発生するような設備はなく、また、隣接する東海発電所及び東海第二発電所で溢水が発生したとしても、廃棄物埋設地はこれらの発電所から約 0.5km 離れており、溢水の影響は局所的または一時的であるため、廃棄物埋設施設の安全機能が損なわれることは考えられない。 なお、万が一、安全機能を有する施設に大きな影響を及ぼすおそれがある場合は、必要な体制を構築し、速やかに復旧する。	×

以上